

JAしまね 自己改革工程表（令和2年度目標・実績）

1. 農業者の所得増大・農業生産の拡大

重点施策	具体的取り組み		令和2年度	
			目標数値	実績
農家所得の向上	○JA販売高416億円の実現に向けた販売計画	米穀	10,189百万円	9,278百万円
		園芸	8,224百万円	7,300百万円
		畜産	18,211百万円	18,471百万円
		産直	3,293百万円	2,878百万円
		合計	39,919百万円	37,928百万円
担い手育成	○地域の担い手育成			
	新規就農者の研修先の確保	栽培実践研修の受入	新規就農研修生・産業体験の取り組み	
	集落営農の設立・法人化支援	組織化・法人化支援 20件/年	4件/年	
	○農業経営管理支援			
	経営支援の強化	法人記帳代行30件	37件	
	経営分析診断に基づく経営コンサルの実施	15経営体	11経営体	
	○事業承継支援			
	事業承継の地区本部担当者の育成・支援実施	15件	27件	
	○農作業等の安全・安心対策			
	農作業事故防止啓発	TACかわら版での啓発 春と秋の集中啓発期間での周知	4、5、8、9月号のTACかわら版で啓発	
	農業労災保険加入推進	各生産者組織の総会等で加入促進 TACを中心とした加入推進	777名加入（R3.3.1時点） （前年比57名増）	
	○農業労働力確保対策			
	農業サポーター制度	サポーターセンターの設置	1地区	

重点施策	具体的取り組み	令和2年度	
		目標数値	実績
米穀生産販売	○「コシヒカリ」から「きぬむすめ」「つや姫」への転換		
	「きぬむすめ」と「つや姫」への作付誘導	きぬむすめ 6,000ha つや姫 1,600ha	きぬむすめ 5,249ha つや姫 1,298ha
	○事前契約（複数年・収穫前）数量確保による結びつき安定取引の拡大		
	事前契約数量目標	出荷契約数量に対し80%	20,092 t
	複数年契約数量拡大	契約量10,000 t	2,372 t
	○業務用途向け品種の導入		
	有望品種の試験栽培	2品種での生産販売展開	作付面積 ほしじるし 10.6ha つきあかり 12.2ha 普及性の期待がある「つきあかり」の展開を図る
	生産者と実需者の結びつきの契約拡大	契約量700 t	木徳神糧、畠山製菓で契約
	○「作り手の顔が見える販売」の推進		
	生産者限定米の販売推進	5卸業者	3社
水田を活用した 園芸作物の推進	○水田フル活用による園芸振興の推進		
	安定生産に向けた基盤整備の推進	7経営体の実施	10経営体
	園芸型高収益作物導入検討と実践	高収益作物の実証	2品目：ブロッコリー、かぼちゃ
	広域産地化に向けた運送・施設整備	保冷施設の設置	玉葱広域調整保管施設 事業採択
	○重点推進5品目の更なる生産拡大		
	キャベツ	新規作付10ha	12.2ha
	たまねぎ	新規作付10ha	6.0ha
	ミニトマト	新規作付3ha	0.7ha
	白ねぎ	新規作付4ha	3.1ha
	アスパラガス	新規作付3ha	1.3ha
	○果樹の生産維持・拡大		
	デラウェアの老木からの改植（優良系統）	改植5ha	3.9ha
リースハウス導入・団地化への推進	5ha	1.85ha	

重点施策	具体的取り組み	令和2年度	
		目標数値	実績
畜産農業産出額の拡大と品質の向上	○和牛繁殖		
	市場上場の目標	5,700頭	5,322頭
	発育目標等一定基準を満たした牛に装着するリボン装着率向上	巡回等での飼養管理マニュアル推進による子牛市場でのリボン装着率向上(装着率15%)	検討会11回(装着率11.2%)
	○養鶏		
	農場HACCP・JGAP認証取得	1件	6件
	○養豚		
	出荷頭数の拡大	31,300頭	28,575頭
	○肉牛		
	脂肪酸数値を活用した販売	120頭	40頭
	○酪農		
自家育成での保留する後継牛数	1,250頭	1,222頭	
産直を活用した農業所得の向上	○直売所同士での季節の“旬”を補完し合うことで地産地消と地産都商での生産販売の拡大		
	県内直売所間物流の構築	直売所への出荷体制整備	2地区本部
	新たな販路の拡大	県内インショップ形式の直売拡充	2カ所
	○生産履歴の記帳による生産物の安全安心の徹底		
	生産履歴システムの活用	生産履歴記帳率100%	10地区本部にて実施
	GAP・HACCP対応	美味しまね認証の推奨	生産者説明会 7地区本部開催
生産資材コストの低減	○銘柄統一した水稻肥料への集約拡大と県域を超えた銘柄集約		
	銘柄集約による供給	2,300t	2,370t
	○大型規格による価格低減		
	大型規格でのカバー面積の拡大	2,400ha	2,500ha
	○低価格銘柄による品揃えの充実		
	ジェネリック農薬等の採用	15銘柄採用	0銘柄 (コスト低減に資する新規農薬・ジェネリック農薬の開発要求)
	低価格銘柄の供給拡大	200t	239t
	○低価格トラクターの取り組み強化		
	低価格モデルの推進	36台供給	28台供給

2. 地域の活性化

重点施策	具体的取り組み	令和2年度	
		目標数値	実績
くらしの活動	○食と農に関する活動	農業体験教室、食農教育、地産地消による料理教室、地元農産物直売等イベントの実施	コロナ禍による活動制限 (農業体験教室、食農教育、地産地消による料理教室、地元農産物直売等イベント)
	○地域貢献活動	生活文化活動、健康管理活動、子育て支援、助けあい活動、地域ボランティア、地域活動への参加	実施 (健康管理活動、助けあい活動、地域活動への参加) コロナ禍による活動制限 (生活文化活動、子育て支援、地域ボランティア)
	○支店ふれあい活動	JA・支店まつり、来店感謝デー、スマイルデー、支店だより発行、支店イベント活動等の実施	実施 (来店感謝デー、スマイルデー、支店だより発行) コロナ禍による活動制限 (JA・支店まつり、支店イベント活動)
地域貢献・地域活性化	○地域活性化に取り組む地域組織、グループ、団体の活動を継続して支援	地域振興支援資金を活用して、地域活性化に取り組む地域組織、グループ、団体の活動を継続して支援	実施